

【記入例：具体事例】

-実施計画「6」事業内容の説明、「7」開発の達成目標等-

- ①農林水産物を「活用する地域資源」とした事例
- ②鉱工業品を「活用する地域資源」とした事例
- ③生産技術を「活用する地域資源」とした事例
- ④観光資源を「活用する地域資源」とした事例－1
- ⑤観光資源を「活用する地域資源」とした事例－2



公益財団
法人

東京都中小企業振興公社

①

農林水産物を「活用する地域資源」
とする場合

6 事業内容の説明

申請テーマ：世界遺産〇〇島でパッションフルーツの海中醸造酒を開発

(1) 助成事業の概要 (400字以内で簡潔に記載してください)

温暖な世界遺産〇〇島で育つパッションフルーツを原料に、南国の島の風味を感じる△△酒を醸成する。
この△△酒の特徴は、一年を通じ温度が安定した海中で発酵および熟成を行うことで、安定した品質が期待できる。
また観光客の△△酒作りへの参加を可能として、〇〇島へのリピート訪問の増加を図る。

専門用語 の解説	とくになし。
-------------	--------

(2) (1)の助成事業を達成するために活用する地域資源

〇	農林水産物	鉱工業品・生産技術
	観光資源（文化財、自然の風景地、温泉その他）	

具体名	〇〇島産のパッションフルーツ	の魅力を活用した開発事業
-----	----------------	--------------

* 都の定める「地域産業資源」に該当する場合はその番号を記入（募集要項 P. 22 参照）		
---	--	--

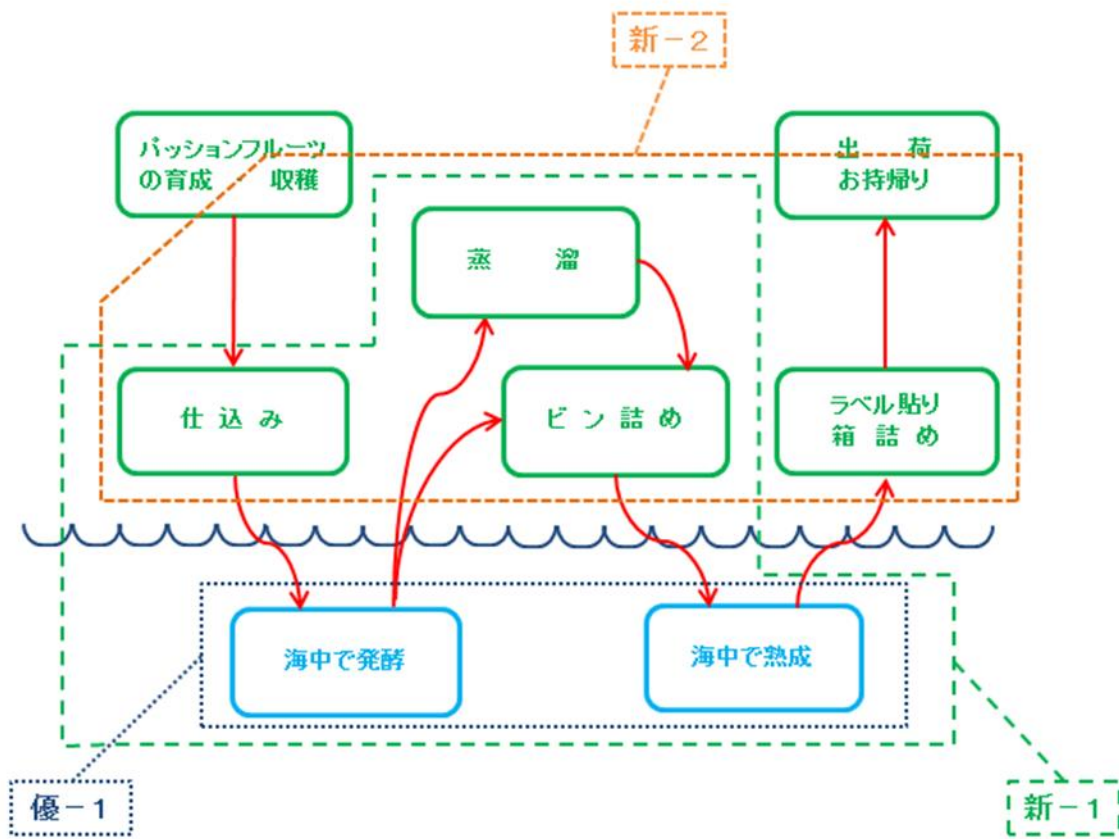
上記「地域産業資源」以外を東京の地域資源とする根拠	募集要項 3 P 「地域資源の定義」(ア)(イ)の趣旨に沿って、 <u>両方とも</u> 記入	
	ア	島内で広く栽培されているパッションフルーツを有効活用することで島全体の事業を活性化できる
	イ	1. メジャー観光ガイド雑誌(〇〇・□□)に掲載 2. TV 番組(××・△△)等での紹介実績あり

(3) 地域への波及効果・社会的な貢献度

都内地域名	〇〇島
-------	-----

波及効果や貢献の内容	1 事業から期待できる効果 特有の原材料、特有の自然環境を利用して作るので、将来的には〇〇島ブランド商品となりうる可能性がある。 2 事業の継続性や発展性 △△酒としては原材料による種類を増やすことが可能である。また発酵・熟成技術を活用して、植物由来食品(例えばココナツバター、チーズなど)を開発できる。 3 地域における関係従事者との連携可能性 原材料から販売に至る各工程での雇用拡大が見込まれ、農水産事業者など各人が持つ技術を各工程で活用できる。
------------	--

(4) 事業の説明（①全体像の説明、②開発要素の説明）



・新規性（成果物の独自性、既存の製品・サービスとの相違点等）

※ 主なものをアピール度の高い順に最大3点まで記入

新-1	☆いまだかつてない新製法☆ ラム酒やワインを海中で熟成させた商品例はあるが、発酵と熟成を海中で行った商品は無い。
新-2	☆〇〇島に思いを馳せて☆ 仕込みや、発酵や熟成、瓶詰めなどの作業に参加して、島への思いを込めたマイ△△酒を作ることができる。
新-3	

・優秀性（競合する製品やサービスと比較して、開発する成果物がそれより優れている点）

※ 主なものをアピール度の高い順に最大3点まで記入

優-1	☆安定した風味と品質☆ 〇〇島は東京都で唯一亜熱帯にあり、年間の気候や海の状況は安定している。このため発酵や熟成の環境が一定で、品質を安定化できる。
優-2	
優-3	

7 開発の達成目標等

前ページで記載した新規性や優秀性（新-1～3、優-1～3）を具体的に表す仕様や機能を示した目標について、箇条書きで記載してください。

(1) 具体的な達成目標 【 申請書提出後の変更は不可です 】		
	達成目標	達成を証明するもの
新-1	(1) 原材料のフルーツは二種類以上とする。 (2) 製法はワインタイプ及びブランデータイプの二種類を開発する（計四種類以上の△△酒ができる）。 (3) 製法をマニュアル化する。 (4) 製造設備を開発する。 (5) 運用方法はマニュアル化する。	☐ 仕様書・運用マニュアル ☒ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真 ☒ その他（ <u>酒類製造許可証</u> ）
新-2	(1) 観光客の滞在期間5～6日を想定した、マイ△△酒作りアクティビティのプログラムを開発する。 (2) 個性的な風味付けに適した島特有の香草やミネラルを選定し、五種類以上のおすすめレシंपを準備する。	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真 ☒ その他（ <u>アンケート報告書</u> ）
新-3		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）
優-1	全試作ロットについて、風味や成分の分析評価及び試飲評価を定期的に行い、品質の安定を確認する（なお本評価結果の対応策は、新-1の各マニュアル(3)(5)に反映する）。	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真 ☐ その他（ ）
優-2		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）
優-3		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）

②

鉱工業品を「活用する地域資源」
とする場合

(1) 助成事業の概要 (400字以内で簡潔に記載してください)

江戸切子の製作工程において仕上げに相当する磨きは、江戸切子の特徴であるガラス表面の美しい色と輝きを左右する重要な工程である。これは職人の……よりなされ、多大な労力を要するため高コストの要因になっている。

また、微細な切り口の断面の〇〇加工は困難であった。一方、大量生産品では□□□を用いて磨いており、経済的・環境的に好ましくない。本事業は、△△△を江戸切子に新たに適用検討し、***の手法を確立することにより、これら課題を解決し得る江戸切子の新たな製作工程を構築するものである。

専門用語
の解説

江戸切子:江戸時代に金剛砂を用いたガラス彫刻が起源とされ、現在まで職人作業による切子。細工の匠の技が伝えられている。東京都及び国が指定する伝統工芸品の一つである。
□□□: ガラス全体を……………るもので、大量品向け加工法。
△△△:切り込みを入れたガラス表面に……………を施すことにより、表面をわずかに…して艶出しを行う。

(2) (1)の助成事業を達成するために活用する地域資源

農林水産物	○ 鉱工業品・生産技術
観光資源 (文化財、自然の風景地、温泉その他)	

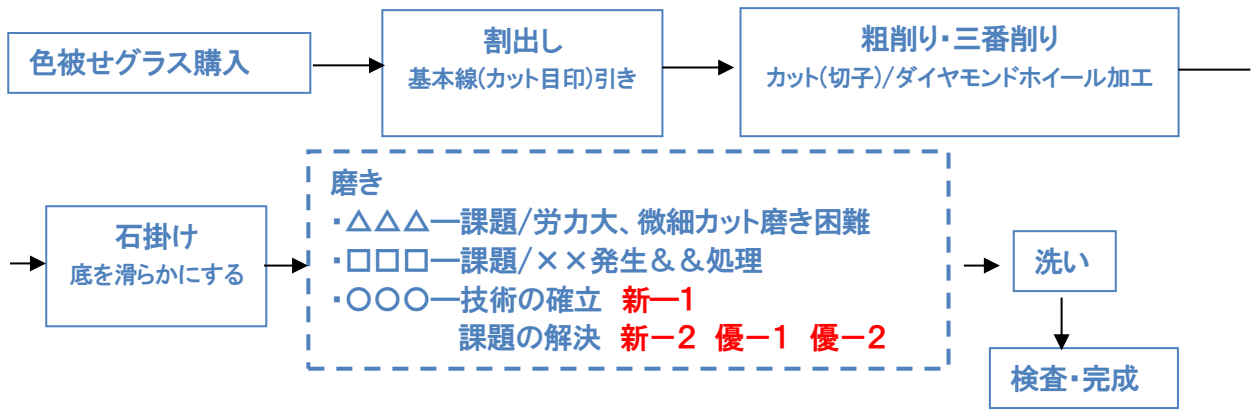
具体名	江戸切子	の魅力を活用した開発事業
* 都の定める「地域産業資源」に該当する場合はその番号を記入 (募集要項 P. 22 参照)		B-9
上記「地域産業資源」以外を東京の地域資源とする根拠	募集要項 3 P 「地域資源の定義」(ア)(イ)の趣旨に沿って、 <u>両方とも</u> 記入	
	ア	
	イ	

(3) 地域への波及効果・社会的な貢献度

都内地域名	中央区、台東区、墨田区、江東区、大田区、葛飾区、江戸川区
波及効果や貢献の内容	①デザイン性に優れた江戸切子をより廉価で販売することができれば、購買者数や購入者層が拡大し江戸切子業界や地域の活性化に貢献できる可能性がある。 ②幾何学模様等でより微細なカット面の透明度が向上すれば、デザインの幅も広がり、デザイナーの新たな発想(新製品)に寄与できる。 ③この技術を同業者にも普及させることで、製造コストの低減による収益アップや職人の負担軽減が図れ、江戸切子職人の継承者確保や伝統継続にも繋がる事が期待できる ビジネス展開

(4) 事業の説明（①全体像の説明、②開発要素の説明）

江戸切子の製作工程



・新規性（成果物の独自性、既存の製品・サービスとの相違点等）

※ 主なものをアピール度の高い順に最大3点まで記入

- | | |
|-----|--|
| 新-1 | 江戸切子の仕上げにおいて・・・はこれまで全くなされておらず、新規な試みである。 |
| 新-2 | まとまった数の製品にもこの技術の適用が可能となり、従来の・・・で使用していた・・・の・・・が不要となる。 |
| 新-3 | |

・優秀性（競合する製品やサービスと比較して、開発する成果物がそれより優れている点）

※ 主なものをアピール度の高い順に最大3点まで記入

- | | |
|-----|---|
| 優-1 | より労力をかけずに・・・が可能となるため、職人の技を活かしつつ製造コストを下げるができる。 |
| 優-2 | ・・・では困難であった微細な切り口の断面を、より透明度や輝きを増して磨くことができる。 |
| 優-3 | |

7 開発の達成目標等

前ページで記載した新規性や優秀性（新-1～3、優-1～3）を具体的に表す仕様や機能を示した目標について、箇条書きで記載してください。

(1) 具体的な達成目標 【 申請書提出後の変更は不可です 】		
	達成目標	達成を証明するもの
新-1	①江戸切子の……に適合した……技術を確立する。 ②検討初期～完了までの試みと結果を報告書にまとめ、作業マニュアルを作成する。	■仕様書・運用マニュアル □図面 □設計書 ■試験報告書 ■写真 □その他（ ）
新-2	①切り口断面の透明性と輝きが、……品と同等もしくは同等以上の江戸切子のガラスウェアを製作する。 ②製作品は○○○を1個、△△△を1個	□仕様書・運用マニュアル □図面 □設計書 □試験報告書 ■写真 ■その他（ 社内検査書 ）
新-3		□仕様書・運用マニュアル □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 □その他（ ）
優-1	標準の江戸切子製品について、従来の……と……で比較して××%以上の製造コスト低減が図れる。	□仕様書・運用マニュアル □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 ■その他（ コスト試算表 ）
優-2	①微細な切り口断面の磨きについて、従来の……と……で比較して透明性と輝きが向上したガラスウェアを製作する。 ②製作品は□□□を1個	□仕様書・運用マニュアル □図面 □設計書 □試験報告書 ■写真 ■その他（ 社内検査書 ）
優-3		□仕様書・運用マニュアル □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 □その他（ ）

③

生産技術を「活用する地域資源」
とする場合

6 事業内容の説明

申請テーマ: 浴衣染めの技術を活かした〇〇文化普及

(1) 助成事業の概要 (400字以内で簡潔に記載してください)

東京の伝統工芸である「〇〇つくり文化」をさらに普及・発展させる仕掛けを構築する。

(1) 〇〇つくり文化の認知度向上活動による、潜在顧客の掘り出し

(2) プロの〇〇デザイナー育成の仕組み作り

(3) オリジナル〇〇のオーダーシステムの構築

専門用語
の解説

・注染め、東京本染めゆかた

明治以降、日本で発達した独自の手染め手法を「注染」といいます。表裏が同じく染められる、一枚の型紙で同時に何色も染められるなど、世界に類を見ない特徴があります。東京都の伝統工芸品に指定されている「東京本染めゆかた」は、この伝統手法を都内で受け継いでいます。

(2) (1)の助成事業を達成するために活用する地域資源

農林水産物

○

鉱工業品・生産技術

観光資源 (文化財、自然の風景地、温泉その他)

具体名

東京本染め浴衣

の魅力を活用した開発事業

* 都の定める「地域産業資源」に該当する場合はその番号を記入 (募集要項 P. 22 参照)

B-63

上記「地域産業資源」以外を
東京の地域資源
とする根拠

募集要項 3 P 「地域資源の定義」(ア)(イ)の趣旨に沿って、両方とも記入

ア

イ

(3) 地域への波及効果・社会的な貢献度

都内地域名

葛飾区、江戸川区、台東区、豊島区、文京区

波及効果や
貢献の内容

1 事業から期待できる効果

(1) 新たな仕組みを構築・運営することで、新たな本染め市場の開拓と、時代にマッチした新〇〇ブランドの構築が期待できる。

(2) 国内の他、外国人観光客や海外へ向けて、〇〇文化の浸透を図ることができる。

2 事業の継続性・発展性

(1) 東京都の本染めゆかたの伝統技法を伝承し、継続的に発展させると共に、〇〇文化として新たな展開への道を拓くものである。

(2) さらに、現在は激安海外製ゆかたに席卷されている、本染めゆかた市場の復権につながることも期待できる。

3 地域における関係従事者との連携の可能性

(1) 本染めゆかた各工程の専門業者と連携し、伝統技法の継承と発展を図る。

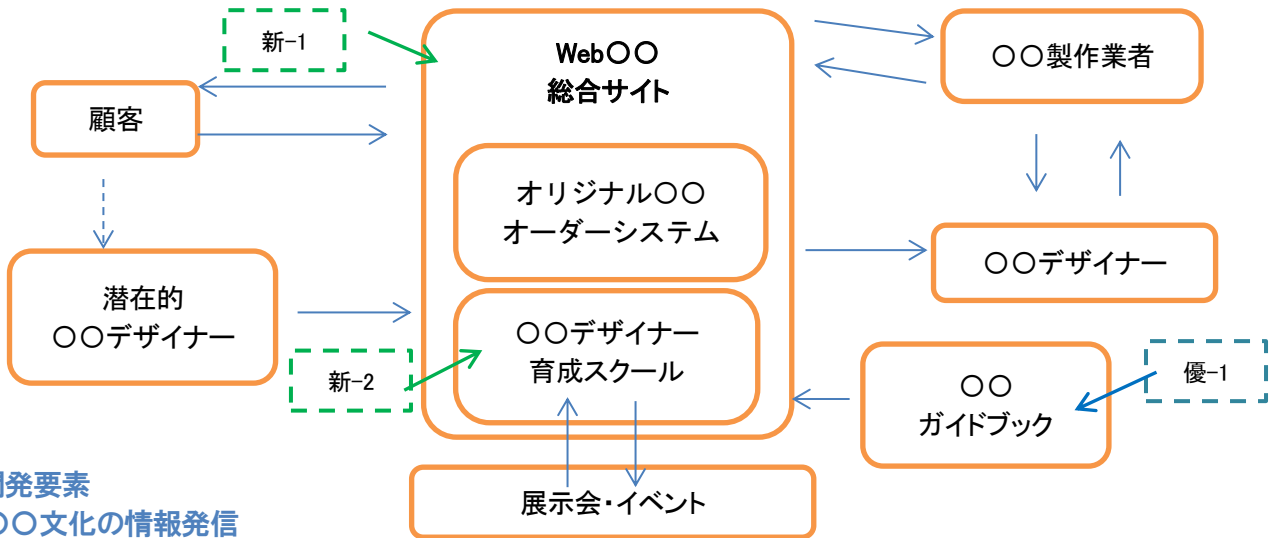
(2) 新たな感性をもつプロの〇〇デザイナーとの連携で、東京の〇〇文化の新たな発展につなげることができる。

(4) 事業の説明（①全体像の説明、②開発要素の説明）

1 全体像の説明

以下の3機能を有機的に組み合わせ、総合的に運用する仕組みを構築する。

- ・〇〇文化の情報発信、・プロ〇〇デザイナー育成、・オリジナル〇〇の受発注



2 開発要素

- ・〇〇文化の情報発信

① Web〇〇専門サイトの開設

② 展示会出展、〇〇イベント開催

- ・プロ〇〇デザイナー育成

①プロ〇〇デザイナー育成スクールの開校

②〇〇ガイドブックの作成

- ・オリジナル〇〇の受発注システム

①会員登録、受発注システムの構築

②決済システムの構築

③〇〇デザインシステムの構築

- ・新規性（成果物の独自性、既存の製品・サービスとの相違点等）

※ 主なものをアピール度の高い順に最大3点まで記入

新-1	<Web〇〇総合サイト> 〇〇づくりを東京の伝統文化として捉えた情報を発信すると共に、〇〇愛好家、プロ〇〇デザイナー予備軍が集う場として運営される、他に類を見ない総合サイトである。
新-2	<〇〇デザイナー育成スクール> 業界初の、〇〇デザイナー育成のためのスクールである。 時代にマッチした、斬新な〇〇デザインを生み出すプロ〇〇デザイナーを育成する。
新-3	
・優秀性（競合する製品やサービスと比較して、開発する成果物がそれより優れている点） ※ 主なものをアピール度の高い順に最大3点まで記入	
優-1	<〇〇ガイドブック> 〇〇文化の理解促進、専門性の高い付加価値を盛り込む。デザイナー育成スクール等で活用。
優-2	
優-3	

7 開発の達成目標等

前ページで記載した新規性や優秀性（新-1～3、優-1～3）を具体的に表す仕様や機能を示した目標について、箇条書きで記載してください。

(1) 具体的な達成目標 【 申請書提出後の変更は不可です 】		
	達成目標	達成を証明するもの
新-1	〇〇総合Webサイトの構築 <機能> ①〇〇知識のデータベース、関連情報の紹介機能 ②〇〇愛好家の集うコミュニティー機能 ③〇〇デザイナー育成スクール、オリジナル〇〇受発注システムへの、専用入口機能	■仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ■設計書 ■試験報告書 ☐ 写真 ■その他（Web 画面 HC）
新-2	〇〇デザイナー育成スクールの創設 ①カリキュラム、講師、テキスト、受講料の設定 ②**回開講する	■仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ■その他（募集要項案）
新-3		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）
優-1	〇〇デザイナーのためのガイドブック 作成 ①〇〇の歴史、製作方法、デザインの変遷の紹介から、受注、販売方法まで、クリエイター活動に必要な内容を網羅する。 ②フリーデザイン素材集(CD-ROM)を添付する。	■仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ■その他（ガイドブック）
優-2		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）
優-3		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）

④

観光資源を「活用する地域資源」
とする場合－１

6 事業内容の説明

申請テーマ: 東京都の離島 11 選を巡る観光飛行サービス

(1) 助成事業の概要 (400字以内で簡潔に記載してください)

離島の大自然の素晴らしさは、各所で紹介され、予め収録されたコンテンツが提供されているが、臨場感に欠ける。遊覧飛行等を現地で利用する手段はあるが利用者のコストパフォーマンスに難がある。そこで最新のバーチャルリアリティ技術・ネットワーク技術と新規ドローン本体とその制御技術を開発して、離島の自然の姿をドローンに搭載したカメラからの撮影で FPV を実現することで、利用者が実際に飛行機に搭乗せずに居ながらにして、臨場感のあるリアルタイムな飛行風景を体感する観光飛行サービスを提供する。ドローンには、カメラが搭載されており、リアルタイムに画像を利用者に届ける。各ドローンには専任の操縦者(観光パイロット)が割当られており、利用者との会話や観光アナウンス等を行い、観光飛行を体感できる。

専門用語
の解説

FPV:「First Person View(ファーストパーソンビュー)」の頭文字を取ったもので、意味は一人称視点。ドローンにカメラを取り付けて映像を送信し、ドローンの高さや位置、方向感覚をより正確に理解できる。

(2) (1)の助成事業を達成するために活用する地域資源

	農林水産物	鉱工業品・生産技術
○	観光資源 (文化財、自然の風景地、温泉その他)	
具体名	東京都の離島 11 選の自然	の魅力を活用した開発事業
* 都の定める「地域産業資源」に該当する場合はその番号を記入 (募集要項 P. 22 参照)		
上記「地域産業資源」以外を東京の地域資源とする根拠	募集要項 3 P 「地域資源の定義」(ア)(イ)の趣旨に沿って、 <u>両方とも</u> 記入	
	ア	東京都にある 11 の離島は、国立公園「特別な自然現象の保護を主目的として管理される地域」の一部として、幅広く活用できる。
	イ	日本を代表する自然の風景地(観光資源)として各種メディアで取り上げられている

(3) 地域への波及効果・社会的な貢献度

都内地域名	伊豆諸島、小笠原諸島
波及効果や貢献の内容	1 事業から期待できる効果 遠方にある離島の生きた自然の姿を手軽に自らの目線で体感することができ、島愛好者のハードルを下げることができ、産物の購買・来島者の増加等が期待できる。 2 事業の継続性や発展性 (1)当初は旅行代理店に利用環境を設置し、観光客へのサポートツールとして安定的なサービス提供を行う (2)ヘッドマウントディスプレイの代わりに PC 画面で簡易な VR 映像を提供することで、利用環境の制約を下げて、利用者の拡大を行う (3)観光コースの拡大、飛行方式の拡大(パイロット付から自立飛行など)によるサービス内容充実 (4)アミューズメント施設との連携(リアルタイムなコンテンツ提供) 3 地域における関係従事者との連携可能性 (1)地場観光スポットと連携した飛行ルートの設定(観光スポットのリアルタイムな紹介) (2)ドローン発着ステーションの管理運営(ドローンのメンテナンス等含む)、新規観光コース開発、ドローン操縦者の育成などによる島人材の活用。

(4) 事業の説明 (①全体像の説明、②開発要素の説明)

1 全体像の説明

(1)利用者は、サービス利用場所にて飛行プラン(離島、飛行コース)を選択
ヘッドマウントディスプレイを装着したことで搭乗となる。そこに展開される
リアルタイムコンテンツを体感することにより所定の観光飛行サービスの提供
を受け、利用料金を支払う。

(2)観光飛行は、観光飛行の離島において、**優-2** 観光パイロットが発着ステーション
からドローン群を発進させることで開始となる。撮影機の不具合が発生時は
中継機が観光パイロットの指示で代替え機となり、観光飛行を継続する。

(3)サービス利用場所と観光飛行の離島間は最新ネットワーク技術による
映像伝送を行い、最新のバーチャルリアリティ技術で臨場感のあるリアルタイム
な飛行風景を実現する。 **優-1**

2 開発要素の説明

(1)観光飛行ドローン開発(図2) **新-1**

産業用ドローンの仕様をベースに以下を実装した専用ドローン

- ・ステレオカメラ搭載
- ・無線中継機能
- ・長時間飛行(2時間以上)

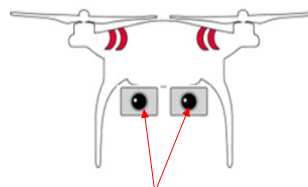
(2)マルチドローン制御プロトコル開発(図3) **新-2**

複数ドローンを一群として制御することで発着ステーション
(ドローンを操縦)から中継機を経由して遠隔(対向では無線が
届かない)に撮影機を展開し、撮影映像をリアルタイムで伝送する

- ・群制御
- ・画像音声伝送

(3)ドローン操縦コックピットシステム開発 **新-3**

- ・飛行ルート作成
- ・ドローン操縦
- ・実際の飛行結果を反映したナビゲーション



ステレオカメラ

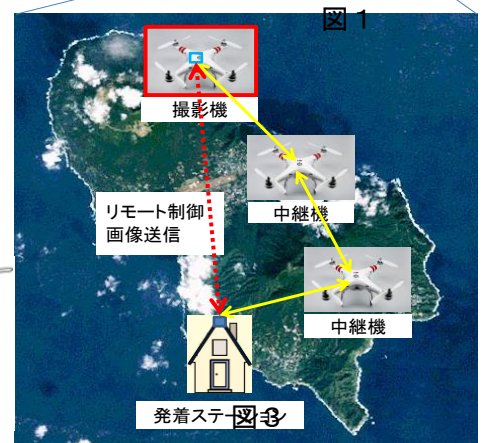


図1

・ **新規性** (成果物の独自性、既存の製品・サービスとの相違点等)

※ 主なものをアピール度の高い順に**最大3点**まで記入

新-1	☆観光飛行ドローン開発☆ ステレオカメラを搭載、無線の中継機、長時間飛行
新-2	☆マルチドローン制御プロトコル開発☆ 撮影ドローンと中継機ドローンを一群に制御したリモート制御・画像伝送
新-3	☆ドローン操縦コックピットシステム☆ 飛行ルート作成、実際に飛行した結果に基づく操縦ナビゲーション、ドローン操縦
・優秀性 (競合する製品やサービスと比較して、開発する成果物がそれより優れている点) ※ 主なものをアピール度の高い順に 最大3点 まで記入	
優-1	☆飛行機に搭乗した観光サービスに近い臨場感☆ リアルタイムなステレオ映像撮影、観光パイロットによるリモート制御
優-2	☆観光パイロットの良好な作業環境とドローン保守環境☆ 遠隔からリモート制御が実現できるため、島内に発着ステーション(固定基地)を設定できる
優-3	

7 開発の達成目標等

前ページで記載した新規性や優秀性（新-1～3、優-1～3）を具体的に表す仕様や機能を示した目標について、箇条書きで記載してください。

(1) 具体的な達成目標 【 申請書提出後の変更は不可です 】		
	達成目標	達成を証明するもの
新-1	(1)ステレオ撮影用カメラ2機 (2)無線周波数 2.4GHz帯/5.8GHz帯 (3)無線中継機能 (4)2時間以上連続稼働(通常の撮影飛行、詳細は仕様書に記載)	☒ 仕様書・運用マニュアル ☒ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真 ☐ その他 ()
新-2	(1)マルチドローン制御 最大 5台 中継ルーティング(アドホックモード) (2)画像解像度 最大1080p	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他 ()
新-3	(1)ルート作成 通過点設定:最大1000ヶ所 (2)飛行ログ取得 記録点:最小7200ヶ所(1秒毎に記録、7200秒(2時間)) (3)ナビゲーション機能 予測航路と現在位置のグラフィカル表示	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他 ()
優-1	ステレオカメラで撮影した画像をFPVな映像としてリアルタイムに表示(撮影から映像表示までの最大遅延時間30ms以内)	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☒ 試験報告書 ☐ 写真 ☒ その他 (録画した映像)
優-2	(1)発着ステーションの設置 11島分 (2)発着ステーションから、最も遠隔飛行ルートのリモート制御可能 所定の飛行ルートに基づき発着ステーションからドローン群をリモート制御して観光飛行を実施	☐ 仕様書・運用マニュアル ☒ 図面 ☐ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真 ☐ その他 ()
優-3		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他 ()

⑤

観光資源を「活用する地域資源」
とする場合－2

6 事業内容の説明

申請テーマ:インバウンド向け AR 情報提供サービス

(1) 助成事業の概要 (400字以内で簡潔に記載してください)

東京(もしくは東京の特定地域)を訪れる外国人観光客向けに、個人の希望や条件にマッチした観光コンテンツのみからなる電子版観光ガイド作成サービスを構築する。

電子版観光ガイドはスマホ上で、個人の観光のナビゲーションを行うとともに、AR機能により、カメラを向けた方向に観光スポット、イベントあるいは近隣の飲食店、みやげもの店等の店舗のエアタグが表示され、その案内を画像付きの多言語音声で聴くことができる。

このサービスにより、東京(あるいは東京の特定地域)の観光の活性化に貢献する。

専門用語
の解説

AR:拡張現実(Augmented Reality)のこと。スマートフォンのカメラの中の現実の世界に、いろいろなものが浮かんで、案内してくれたり、情報を教えてくれたりする技術

エアタグ:AR機能で、登録された色々なスポット情報を、吹き出しで見せる機能。

(2) (1)の助成事業を達成するために活用する地域資源

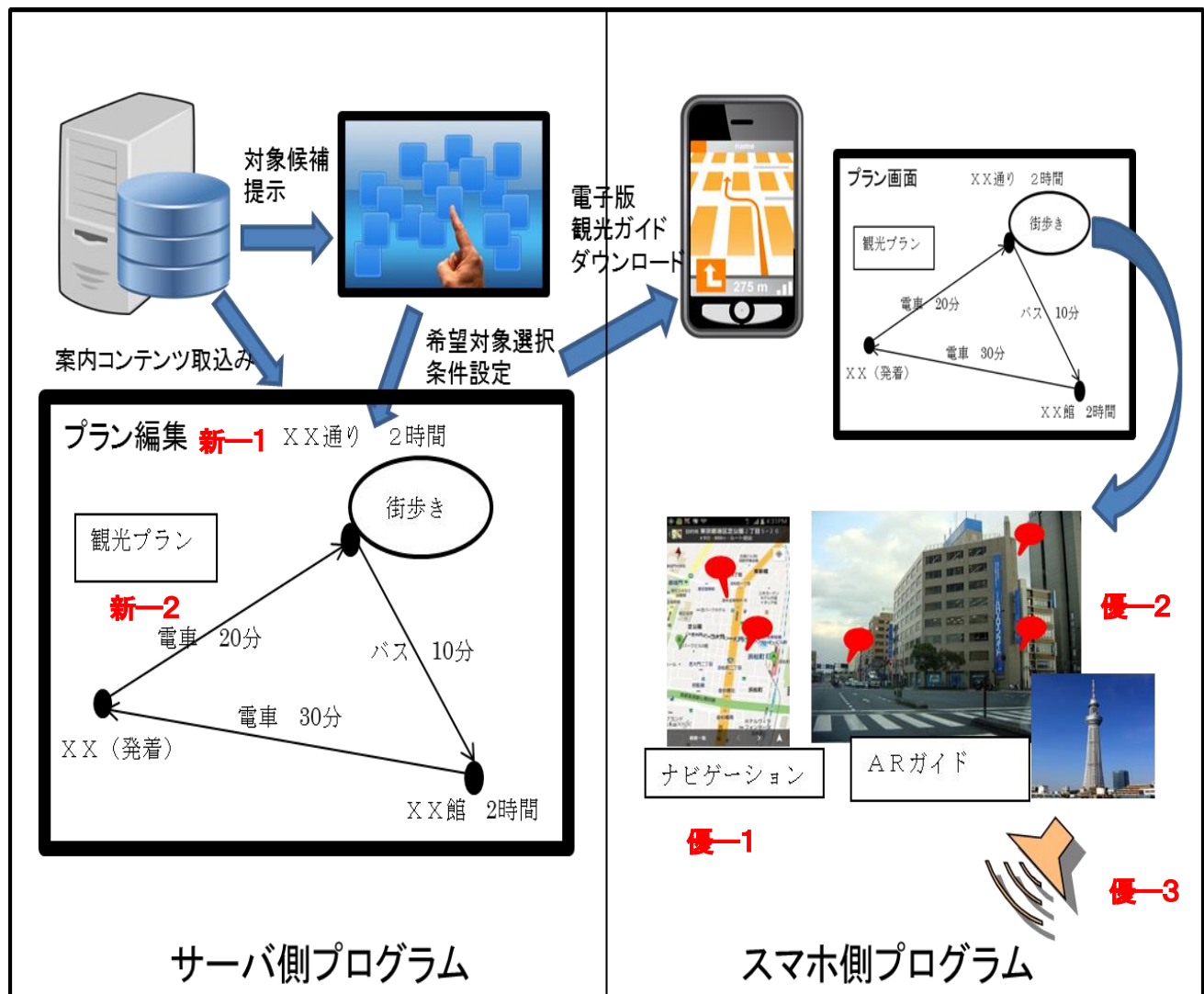
農林水産物		鉱工業品・生産技術	
○	観光資源（文化財、自然の風景地、温泉その他）		
具体名	東京の多種多様な観光スポット・イベント		の魅力を活用した開発事業
＊ 都の定める「地域産業資源」に該当する場合はその番号を記入（募集要項 P. 22 参照）			
上記「地域産業資源」以外を東京の地域資源とする根拠	募集要項 3 P 「地域資源の定義」（ア）（イ）の趣旨に沿って、両方とも記入		
	ア	東京都には、地域産業資源として共有して活用できる観光スポット・イベントが208項目指定されている。これらを組み合わせて今回のサービスを開発する	
	イ	観光資源自体は、都の定める地域産業資源であり、一定程度の認識を有する	

(3) 地域への波及効果・社会的な貢献度

都内地域名	東京(もしくは、東京の特定地域)
波及効果や貢献の内容	1 外国人観光客の利便性が向上し、満足度が向上することにより、東京へのリピータ増になる。 2 観光客数のまだ少ない地域・イベントに対して、画像付き多言語ガイドが提供されることで、地域観光の活性化につながる。 上記1・2により東京の観光産業の発展に寄与することができる。

(4) 事業の説明 (①全体像の説明、②開発要素の説明)

① 全体像



② 開発要素

1. サーバ側プログラム

- パーソナライズ電子観光ガイド作成機能
- ・おすすめ観光スポット・イベントの提示と選択
- ・日程・観光時間を考慮した観光プラン(旅程)の作成・編集
- ・あらかじめ準備された案内コンテンツ(画像付き多言語音声ガイド)の組込み
- 案内コンテンツ(画像付き多言語音声ガイド)
- 観光スポット・イベント: AAA、BBB、...
- 店舗(飲食店、みやげもの店等): XXXX、YYYY、...

2. スマホ側プログラム

- 観光ナビゲーションとARガイド機能
- ・観光プランに対するGPS活用ナビゲーション機能と地図上でのガイド対象(観光スポット・イベント・店舗)のエアタグ表示機能
- ・街歩きでの、AR機能によるカメラ画像上への近傍ガイド対象のエアタグ表示機能
- ・対象の案内コンテンツ(画像付き多言語音声ガイド)によるガイド(表示、音声再生)機能

・新規性 （成果物の独自性、既存の製品・サービスとの相違点等） ※ 主なものをアピール度の高い順に 最大3点 まで記入	
新-1	自分の希望と条件を考慮した独自の電子観光ガイドを簡単に作れるサービスは他に例がない。
新-2	東京の個々の地域観光資源の紹介コンテンツをカバーした外国人向け観光ガイドは、（出版物を含めて）従来は存在しない。
新-3	
・優秀性 （競合する製品やサービスと比較して、開発する成果物がそれより優れている点） ※ 主なものをアピール度の高い順に 最大3点 まで記入	
優-1	重いガイドブックを持ち歩くことなく、自分の観光プランに特化したスマホ版電子観光ガイド（ナビゲーション）により、観光客に対する利便性が高い。
優-2	ARガイドにより、魅力的で、優れた案内機能を実現している。
優-3	多言語音声によるガイドで外国人観光客に対する利便性が高い。

7 開発の達成目標等

前ページで記載した新規性や優秀性（新-1～3、優-1～3）を具体的に表す仕様や機能を示した目標について、箇条書きで記載してください。

(1) 具体的な達成目標 【 申請書提出後の変更は不可です 】		
	達成目標	達成を証明するもの
新-1	・おすすめ観光スポット・イベントから選択された対象が組み込まれ、日程・観光時間の条件を満足した観光プランの作成編集ができること	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真（画面） ☒ その他（ソースコード）
新-2	・東京の地域観光資源の紹介コンテンツ（画像付き音声ガイド）が20個以上準備されていること	☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☒ その他（画像と音声コンテンツ）
新-3		☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他（ ）
優-1	・対象までの街歩きナビゲーションができること。	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真（画面） ☒ その他（ソースコード）
優-2	・ARガイドでは、カメラ映像上に条件をみたす対象（目的地、近隣観光スポット、店舗）のエアタグがすべて表示されていること。	☒ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☒ 設計書 ☒ 試験報告書 ☒ 写真（画面） ☒ その他（ソースコード）
優-3	・画像付き多言語音声ガイドが、最低3か国語で準備されていること	☐ 仕様書・運用マニュアル ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☒ その他（画像と音声コンテンツ）